

みんなで創ってきた
柏の支えあい!

2015年より地域の支えあいを充実するために、各地域で支えあい会議が始まりました。「様々な団体や機関が互いの垣根を越えて意見交換をする場」とし、運営は地域支えあい推進員が行っています。
メンバーは地域組織、ボランティア団体等に加え、その時々テーマによって流動的にいれ変わっています。どんな資源が不足しているのか、地域が活性化するにはどうしたらよいかと具体的に検討してきました。
その結果、地域に支えあいの機運が高まり始め、5年たった現在支えあい会議を通して多くの「たすけあい活動」や「通いの場(コミュニティカフェ)」が立ち上がっています。

みんなで広げよう
柏の支えあい!

地域支えあい会議とは...

団塊の世代が75歳以上になる2025年までに地域の支えあい(たすけあい活動・通いの場)を充実する必要があります。そこで地域のニーズや課題を共有し、支えあい活動の充実について様々な立場でご意見をいただく場としています。

~~~~~  
各地で支えあいの話し合いがたくさん行われ

5年間で **214回** 開催しました!

地域によっては、意見交換の場のみではなく、先駆的地域の支えあい活動の取り組みを勉強したり、ふる協と協賛して支えあいの周知イベントを開催する地域も増えてきました。



支えあいのイベントに多くの方が参加

### たすけあい活動とは...

高齢者や障害をお持ちの方だけでなく、地域で生活をおく上でちょっとした困りごとを、地域の皆さんで助け合う活動です。

~~~~~  
住民同士のたすけあい活動が広がり

31団体から **67団体** に増えました!

ごみ出し・庭の草取り・電球交換など、地域の皆さんのお力でたすけあい活動が増えています。

町会・自治会エリアで35団体!

コミュニティエリアで17団体! 市域エリア18団体!

地域のたすけあいが増えました。



チームのユニフォームでゴミ出し支援中

通いの場(コミュニティカフェ)とは...

高齢者をはじめとする地域の方々が気楽に集まり、楽しくおしゃべりをしたり、情報交換したり、困ったときには助け合えるサロンや通いの場(コミュニティカフェ)等をいいます。

~~~~~  
サロン+通いの場(コミュニティカフェ)が

170団体から **232団体** に増えました!

市内には既存のサロンの他、週1型や常設型のカフェが徐々に増え、ランチや美味しいコーヒーを提供しています。介護予防も取り入れた楽しい企画もあり、ひとりでも、居心地の良い場となっています。



週1回施設のロビーがカフェに変身

### 2015年

- 体制整備研究会が立ち上がり、地域の支えあい体制について検討。
- 地域支えあい推進員10名が地域に配置され、各地域で支えあい会議が始まる。
- 柏市訪問型生活支援サポーター(かじサポ)養成講座開始。

### 2016年

- 支えあい推進員が全地域に配置。
- たすけあい及び通いの場の補助金交付支援開始。

### 2017年

- 全国より支えあいの取り組みについての視察が増加。
- 各地で支えあいの機運が高まり、支えあい会議が年間60回を超える。
- 初めての支えあいシンポジウム開催。

### 2018年

- たすけあい団体が多く立ち上がり、提供件数が20,000件を超える。
- 通いの場(コミュニティカフェ)も週1型・常設型合わせて16団体となった。
- 柏市訪問型生活支援サポーター300名突破。

### 2019年

- 通いの場(コミュニティカフェ週1・常設型)の開設日数が年間延べ2500日を超える。
- 念願の「通いの場パンフレット」が完成し、通いの場の周知として活用。

### 地域ささえあい推進員とは...

2015年から市内20の地域に配置され、支えあい会議の運営や地域で必要なサービスの開発及び人材育成を行っています

~~~~~  
5年間で **6,584回** 活動を行いました!

たすけあい活動や通いの場の立ち上げ支援をはじめ、既存の団体の課題解決にも地域の皆さんと一緒に取り組んでいます。

現在は専門職との連携や会議にも参加し、地域課題を共有し、支えあい会議でも検討しています。

また、各町会にも出向き、支えあいの必要性についてお話をさせていただいています。



支えあいの必要性について説明中